

成果指標				
成果指標	結成率から進捗度を測定する。(目標)市内小学校8校での少年消防クラブ結成。(実績)結成5校。			
指標設定の考え方	幼少期からの防火防災意識を芽生えさせることが肝要であり、市内小学校全てでの結成を目指し、併せて活動内容の充実に努める。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	890	890	890	0
実績	890	890	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防団や婦人防火クラブは、地域防災においてとても重要な組織である。また、幼年及び少年消防クラブは、今後、成長とともに防災知識を身につけて、更なる地域の防災に貢献されるであろう重要な育成事業と考え、今後とも有効な組織運営が必要とされている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防団や幼年・少年・婦人防火クラブの活動を通して、防火・防災意識の向上を図るために継続して実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	